

テクノポリスセンター地区新設小学校の体育館等の実施設計概要・コンセプト等

1 体育館・プール・校庭の概要

- ・体育館：鉄骨造2階建て 約2,104㎡（プール付属棟を含む）
（バレーボールコート2面，ミーティングルーム，家庭科室など）
- ・プール：水面積450㎡（大プール25×15m・7レーン，小プール15×5m）
- ・校庭：約11,000㎡程度
（200mトラック，野球場1面，サッカーコート1面）

<参考>

【新設小学校の概要】

位置・面積：宇都宮市ゆいの杜3丁目15番，32,002.49㎡

学校規模：想定児童数1,050人，想定学級数30学級

【他の建物の概要】

校舎：鉄筋コンクリート造3階建て 約9,071㎡
（普通教室30学級，特別支援学級，管理・特別教室，給食室など）
平成28（2016）～29（2017）年度 実施設計
平成30（2018）～32（2020）年度 新築工事

子どもの家：利用児童数を見極め，平成31（2019）年度に施設規模を決定
平成31（2019）年度 実施設計
平成32（2020）年度 新築工事

2 コンセプト・設計内容

(1) 良好な教育環境

- ・廊下の腰壁やアリーナの壁面の一部を木質化するとともに，校舎に近接している家庭科室へ高窓を設置し，採光や通風を確保するなど，良好で温かみのある教育環境を整備した。
- ・市内で最も大規模な小学校となることから，授業時数に対応できるよう，大・小2つのプールを整備したほか，校庭の遊具も多く整備するなど，適切な学習環境を確保した。

(2) 災害に対する備え

- ・建物の耐震性能はもとより，ガラスの飛散防止対策や照明等の落下防止対策など，非構造部材の耐震性能も確保した。
- ・家庭科室に屋外への通用口を設けるとともに，校舎との間にスペースを確保することで，災害時の炊き出し等にも活用できる建物とした。

(3) 環境への配慮

- ・省エネ・高効率型の設備機器の導入，建物の断熱化，照明のLED化などにより，国土交通省の定める基準値から33%のエネルギー消費量を削減し，文部科学省が推進するエコスクールプラス（※）の基準を満たす建物とした。
- ※エコスクールプラスとは，国土交通省の定める基準値であるエネルギー消費量から10%以上の削減を達成した学校施設のこと。

(4) 地域開放への配慮

- ・ 地域への開放が想定される地域活動室や家庭科室などを体育館棟に集約して整備することで、学校運営に配慮するとともに、地域が活用しやすい建物とした。

(5) 地域に親しむデザイン等

- ・ 体育館の玄関に地場産の木材や大谷石を積極的に採用することで、校舎の玄関と一体性のある宇都宮らしいデザインとした。
- ・ 清原中央小学校の児童が選定した校舎の色彩デザインと、体育館の色彩デザインを合わせることで、ゆいの杜地区を象徴する小学校として、児童が誇りに思える外観を目指すとともに、校舎との一体性を創出した。
- ・ 地域の団体から寄贈意向をいただいている樹木を植えるスペースを校庭に確保し、地域にとって愛着や親しみを醸成することができる施設とした。